

飼養施設、設備の大きさや構造について

以下（１）又は（２）のどちらかを満たす必要があります。

（１）運動スペース分離型（以下、「分離型」）

➡ 【寝床や休息場所となるケージ】＋【運動スペース】の両方が必要

【寝床や休息場所となるケージ】

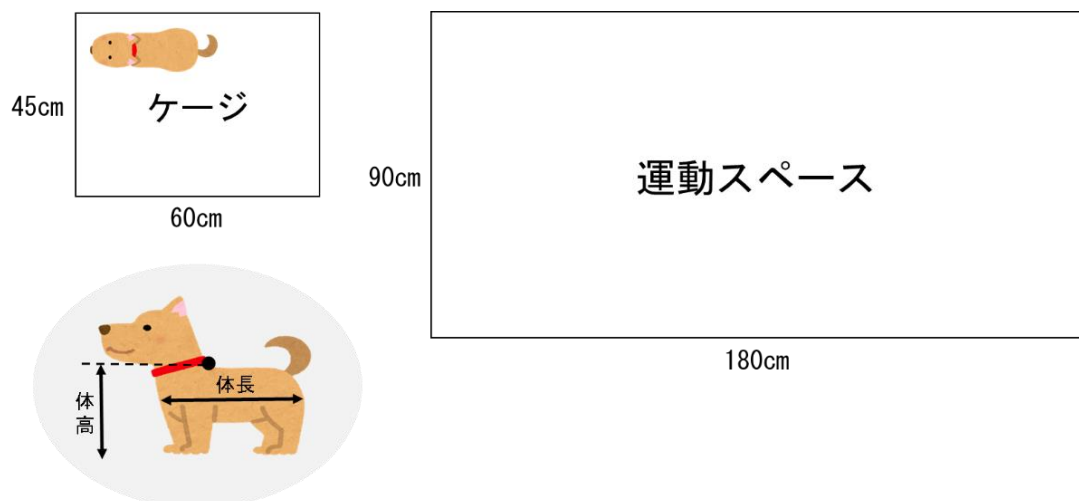
	床面積	高さ
犬	体長の２倍以上×体長の１.５倍以上	体高の２倍以上
猫	（長辺）（短辺）	体高の３倍以上 （柵を設け２段以上の構造とする）

※ 複数飼養する場合は各個体に対する上記の広さの合計面積を確保

【運動スペース】：一体型の基準（後述）と同一以上の広さが必要

- ・ １日３時間以上運動スペースに出して運動が必要。
- ・ 常時運動に利用可能な状態で維持管理すること。

分離型のイメージ図



※体長 30 cm の場合

(2) 運動スペース一体型（以下、「一体型」）

➡ 【寝床や休息場所となるケージ】と【運動スペース】が一体型のケージ等

	床面積	高さ
犬	分離型のケージサイズの 6倍以上	体高の2倍以上
	※ 複数飼養する場合…床面積＝分離型の3倍以上×頭数分	
猫	分離型のケージサイズの 2倍以上	体高の4倍以上 〔2つ以上の棚を設け 3段以上の構造とする〕
	※ 複数飼養する場合…床面積＝分離型の床面積×頭数分	

※ 繁殖時は親子当たり上記の1頭分の面積を確保（親子以外の個体の同居は不可）

一体型のイメージ図

